



第24号
岐阜県立多治見北
高等学校同窓会
〒507-0022
岐阜県多治見市上山町2-49
TEL(0572)22-3361
FAX(0572)22-3362



皆さまには日頃より同窓会活動に多大なるご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

本年度も役員の皆さまの協力とともに、充実した活動を展開することができました。

昨年10月開催のPTフォーラムでは、Zoomジャパン社長下垣典弘氏(22回生)をお迎えし、「Zoomの未来への展望」と「出会いの大切さ」について、熱のこもった講演を頂戴し現役生徒にとって、大きな示唆を得る貴重な時間となりました。

また、同月開催の同窓会ゴルフコンペには151名の皆さまにご参加いただき、雨が心配される天気でしたが、盛大に開催することができました。前年に続き長江征治さん(1回生)が連覇を達成され、さらに驚くことに前年の15回生に続き、今年は14回生から見事ホールインワン達成者が出るという快挙がありました。ご参加の皆さまとともに懇親会は大いに盛り上がり、思い出に残る大会となりました。

なりました。

恒例の秋の清掃活動では、秋晴れのもと紅葉を見ながらの落葉拾いをし、永保寺庭園の素晴らしさを再認識しました。その後の講演会では、栗田和弘さん(21回生)より「社労士は見た! ココがヘンだよ、社会保険」と題し、定年退職後の年金に関する大変有意義なお話を伺い、参加者にとって、生活に直結する貴重な学びの機会となりました。

また、新たな取り組みとして7月に「北辰会基金」を創設し、9月24日には1回生の鈴木満様より5,000万円のご寄付を賜りました。この基金は、世界で活躍出来る人材を育成するための奨学金として活用され、生徒のレベルアップに繋がります。校の未来を支える大きな力となります。鈴木様に改めて深く感謝申し上げますとともに、皆さまにおかれましても基金への温かいご支援をお願い申し上げます。

多治見修道院は、南山大学の母体であるカトリック神言修道会が3年前に取り壊しの方針を決定しました。それを聞いて何とか残せないものかと多治見市観光協会を中心に実行委員会が結成され、第一段階として2月末まで修道院耐震調査への寄付金を受け付けております。政教分離

の原則や高額が予想される修繕費等、調査後の課題は山積していますが、母校多北と修道院は、セツトの景観としますのでご理解ご協力をお願い申し上げます。結びに、本年が皆さまにとって健やかで実り多い一年となりますことを心より祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。



学校文化の継承

四月に白石秀史校長の後任として、土岐紅陵高等学校より転任して参りました。どうぞよろしくお願いいたします。赴任してより、多治見北高等学校同窓会の皆様に多治見北高校が温かく支えられ、見守っていただいていることを強く感じています。皆様のご厚情に心より感謝申し上げます。どうぞこの先も変わらぬご支援を賜りますようお願いいたします。私は多治見北高校に平成十五年から教員として十七年間勤務させていただきました。今回の異動も含め、母校に長く関われることをありがたく思うとともに、その発展に努めたいと考えています。

令和二年に多治見北高校を離れてのち六年間で六つの学校に勤務してきました。離れてみて判ることもあり、今の私にはかつて慣れ親しんだ母校が新鮮に映っています。

ます。その中で、の気付きの一つが校訓です。「自主・自律・自学」校訓がこれほど浸透している学校はありませんでした。在籍する生徒から卒業生、職員に至るまで、校訓を諳んじられない人がいないのが多治見北高校です。創立六十八年ともなれば時代の流れの中で世相や価値観も変わり、校訓もどこか古臭くなったり、窮屈に感じたりするものですが、本校においては変わらず教育の根本理念として在り続けています。それだけに、生徒が人として立つ際の核を成す三年間になるよう、この校訓を拠り所として多治見北高校らしい教育を展開していきたいと思っています。

校訓が浸透しているのに対し、校歌は危機的な状況にあります。先日、軟式野球部が東海大会で劇的な勝利を収めました。試合終了後、健闘を称え校歌が放送されました。ところが、晴れやかな顔で整列した選手からは歌声がなく、私は物足りなく感じていたのですが、暫くして歌わないのではなく、歌えないのだということに思い至りました。新型コロナウイルス感染症の拡大当時、歌唱指導が制限されたことに加え、多治見北高校では体育祭が中止になりました。体育祭では応援合戦で校歌を競い合つて歌うため、二次的に校歌を覚える機会になっていたのです。コロナ禍が去つても、暑い多治見で体育祭の再開は難しく、年間行事から姿を消してしまいました。その結果、音楽選択者を除く北高生は校歌を覚える機会を失ったのです。本校が誇る校歌を生徒が高らかに歌えるよう何

とかしなくてはと思案しています。

新たな芽も育つ

ています。昨年本校は文部科学省からDXハイスクールの指定を受け、デジタル機器やソフトを充実させました。本年度はそれ等を使って創作や探究ができるよう参加



自由のDXサークルを立ち上げました。四月に二、三年生を対象に希望者を募ったところ百二十名が登録してくれました。部活動加入率が九割弱なので多くのサークルメンバーは兼部ですが、各々時間のある時、気の向いた時に好きなことに取り組んでいます。あるグループは、絵本にプロジェクトマッピングを当てて動く絵本を制作しました。幼稚園や保育園で披露して好評を博しています。多治見修道院の記録を撮りたいというグループもあります。ドローンや360度カメラを駆使して記録することですが、まだ交渉の途上にあります。地域課題に目を向けて何か役に立ちたいという姿は、自らをもつて由とする北高生らしさの表れであり、頼もしく思っています。

先輩から後輩へ学校文化は連綿と引き継がれています。多治見北高校が豊かで魅力的な人が育つ場であり続けられるよう、学校文化の継承はなくてはならないものだと思っています。

一般社団法人北辰会基金設立〜M・S奨学金のはじめ〜

M・S奨学金事務局局長
尾関恵一(2回生)

平成30年2月の初め頃、東京の鈴木満さん(1回生)から電話があり、「2月26日午後4時に多治見北高の校長室へ来てくれないか」「大事な相談がある」との事であった。鈴木さんは1回生であり、同窓会東京支部の立ち上げに尽力をされている方であり、同窓会本部の再建にもアドバイスをいただいた。私はこのアドバイスがあつて、同窓会の会長になり同窓会本部を再建し、同窓会活動を開始し始めた。鈴木さんは、私に「同窓会活動」を誘っていた。た先輩であり、東京支部へも同窓会長として出張して親しくお付き合いをいただいている先輩であつた。また、公正取引委員会を退職後、大学教授、弁護士登録をされ、いろいろお話をさせていただいていた。

その鈴木さんから「校長室へ来てくれ」と言われたら、断る理由は何もない。鈴木さんは、「在校生向けの給付型奨学金制度を作りたい」「資金は私が5000万円を交付する」との事であつた。鈴木さんは自分が主催する東京支部で、当時の桜井正之校長とお会いして、そこでアドバイスを受けて、この「奨学金制度」を設けることを決意したとの事であつた。「将来は法人化したいが、当面は私的な制度として運営したいので、君が多治見に居るので、学校との連絡や資金の管理をしてくれ」との鈴木さんの申出でありました。私は「5000万円という巨額の寄付」と「在校生向

けの給付型奨学金制度」という点にびくつき、色々意見を申し上げました。しかし、鈴木さんの決意は固く「この奨学金制度は、桜井校長先生の『熱意の結晶だ』と言われていました。奨学金にする5000万円は「私が女房と一緒働いて貯めたものだ」「女房を亡くしてしまったので、子供も居ないので、自分の老後をどうするかを考えてこの金は若者の育成のために使うことをしたいと思つていた」との事である(頭の下がる想いである)。

M・S奨学金が発足

この奨学金制度を作ることにして、私の「尾関法律事務所」が事務局を務めることにし、その奨学金は「M・S奨学金(鈴木さんの名前の頭文字をいただいて)」という名称にしました。奨学金の対象者は、「1年生終了時点の総合成績」を基準に北高に選考してもらつた。支給を希望する対象者に対して、2〜3年次の24カ月間月2万円の奨学金を給付する(勿論返済は不要)。

このようにして平成31年4月12日第1回の「M・S奨学金」の給付を行いました。対象者は3名でありますので、毎月2万円×24カ月×3名＝144万円を振込みました。第1回の奨学金対象者は、東北大、大阪大、名大にそれぞれ進学してくれました。その後の就任していただいた校長先生より給付対象者、その進学情報をお願い

ただいて、この奨学金が在校生の役に立っていることを痛感していました。それから7年間21名に奨学金を給付し、15名が卒業していききました。令和6年の3名は、全員医学部でありました。しかし、この奨学金は5000万円でありましたので、30年間は存続させなければならぬ。鈴木さんも私も30年は無理です。法人化して、この奨学金制度を存続させる必要がありますので、同窓会幹部の皆さんとも話し合いましたが、「未だ体制が整っていない」との事でありましたので、私は私的な奨学金制度として、運営しながら法人化を模索していました。

奨学金制度の法人化

加藤文雄現会長は、この奨学金制度に大変理解をいただき、色々紆余曲折の結果「一般社団法人北辰会基金」の登記も出来て法人化されました。これからは「M・S奨学金」は、同窓会の奨学金とされることになりました。

令和7年9月24日、校長室



鈴木さんから加藤会長にこの基金をお渡しすることが出来ました。鈴木さんからお預かりしていた5000万円も、7年間給付を続けていましたので、1000万円近く減額していました。鈴木さんから「だいぶ減額しただろう」とお電話があったので、「現在額は、××万円です」と報告したら、「同窓会に引き継ぐ時には5000万円にしたい」と言われて、また1000万円余の金額を私の管理している口座に振込んでいただいたので、「北辰会基金」には、「5000万円」を引き継ぐことが出来ました。鈴木さんの熱意に頭の下がる思いがしました。また、校長室で加藤会長にこの基金をお渡しする時に、田中校長より「今年の給付対象者が鈴木さんにお礼を言いたいと言っている」ので、「同席させたいがどうか」とのお尋ねがあったので、鈴木さんに連絡をしたところ「僕へのお礼は要らない。将来世のために役立つ活動をしていただければ、それで結構です」「給付対象者に負担になることはやらずに、いいですよ」と言われたので、その旨を伝えた。しかし、給付対象者達は「是非お会いしてお礼を言いたい」との事であった。別室で6名が待っていてくれた。鈴木さんも私も奨学金対象者の在校生に会うのは初めてである。鈴木さんは、はりきって奨学金を作った趣旨や、在校生達を励ます言葉を発しておられた。在校生は真剣な眼差しで聴いていた。在校生達は特に3年生は「自分の目標」をしっかりと述べていた。その目は輝いていたものであり、見

ていて感動した。この生徒が受験競争を切り開いてくれることを感じていた。この会では、熱が入り過ぎたためか、時間延長になるほど続いた。

親睦と育成

この「北辰会基金」がいつまでも続いて母校の役に立つことを念願しています。鈴木さんは、「同窓会は同窓生の親睦の面と、後輩(在校生)を育成するという面の2つが揃っている必要がある」「やつと同窓会は一人前になったね」と言われた。味わい深い言葉であった。

同窓会事業

秋の紅葉 虎溪公園・永保寺清掃活動



23回生



35回生

11月16日(日)、同窓会事業委員会主催の虎溪公園・永保寺の清掃活動に初めて参加させて頂きました。虎溪公園・永保寺周辺はワンダーフォーゲ

ルの部活動の際に毎週走っており、当時を懐かしく感じました。

この日は天気も良く紅葉も素晴らしい日となり、今回参加の2回生・51回生までの約120名の卒業生の皆さんは清掃活動を積極的に楽しんでやりました。「懐かしの同級生、先輩、後輩に会えるのもこの同窓会事業に参加する楽しみの一つです。」とお話も聞け、皆さん良い笑顔。学年によっては、この後ランチ会、また下呂温泉旅行に行かれるなど懐かしの同級生が集まる良い機会ですね。来年は、私も同級生と共に参加し同窓会事業を盛り上げたいです。



卒業生による講演会

清掃活動で気持ち良く汗を流した後、は、とうしん学びの丘エールへ移動し、「社

労士は見た！ココがヘンだよ社会保険」定年退職以降の暮らしとお金」をテーマに21回生の栗田和博さんにご講演頂きました。

栗田さんは大学卒業後、百貨店広告業を経て、社会保険労務士の資格を60歳の時に取得し「社会保険労務士・行政書士事務所 WADA・CHI」を開業。ご自身が障害年金受給申請をした際に、複雑怪奇な年金の仕組みに魅了された事がきっかけで勉強をされたそうです。

2024年12月には「あるかだしイン ドールコ自転車旅行の記憶(リール出版)」という1992年に仲間とシルクロード7,900kmを自転車旅した旅行記を出版されるなど多方面にご活躍されています。



講演では、「年金のはなし」として年金の基礎知識から、年金のしくみ、保険料の推移、加給年金や健康保険に関してなど、二つずつ分かりやすくお話し頂きました。講演後は、個別に相談される方もおり、身近で大切な年金問題をしっかりと皆さん学ぶことが出来ました。

栗田さん、静岡より講演に駆けつけてくださりありがとうございました。

多治見北高PTフォーラム 22回生 下垣典弘さん



やバンドなど、勉強以外のことに熱心でした。大学に入る時期に親の会社が倒産し、学費は出してもらいが生活費は自分でまかなうという条件で明治大学に入学。大学時代は母親や叔母からも援助を受け、学校が終わった後17時から翌朝5時までアルバイトをして学校へ行くという生活をしていました。そんなご自身の苦労や経験、家族への感謝の念を心に刻み、就職は最初に決まった会社に入社すると決め、日本IBMへ入社し25年間勤められました。

50歳でガンのステージ4になったことがきっかけで、これからの残りの1万日の日々をどのように過ごすかを考えたそうです。そして、「自分は家族やたくさんの人に支えられてきたのだから、これからは人と人を繋ぐ仕事をしよう」と決め、その後様々な外資系の会社の仕事に携わりました。下垣さん曰く、「今まで多くの仕事をしてきているが、若いころに色々な苦労を乗り越えてきたおかげで、どこの会社に行っても大変だとは感じなかった“そうです。

2022年に、「全ての人に幸せを届ける」という理念が、下垣さんの考えにとっても近いことから、Zoomの日本法人であるZVC JAPANの代表取締役兼会長に就任しました。当初は社員30名程度、売上が数億円だったのが、パンデミックを経て現在は数百億円へと成長しています。広告費を一切取らないZoomは実は企業や自治体向けの通信サービスで収益を上げているというお話し、来るべきAI社会について、GAFAMも取り入れている西海岸スタートアップ企業の人材採用方法など、興味深くとても参考になるお話しが沢山ありました。時代のトップを走る企業の社長から聞く生の話に、これから突入するAI時代の中で、Zoomは仕事やライフスタイルにもとても深くかわつてゆく企業の二つになるのだと感じしました。



講演の最後は毎回恒例の北高生からの質問タイム。理系の生徒さんより仕事についての高度な質問や、若い時にやつておけば良かったことは？どうやったらポジティブな生き方ができるか？などの質問に下垣さんが一人一人丁寧に答えると、生徒たちもウィットに富んだ返しをし、体育館が笑いに包まれ和気あいあいとした雰囲気です。講演会は幕を閉じました。

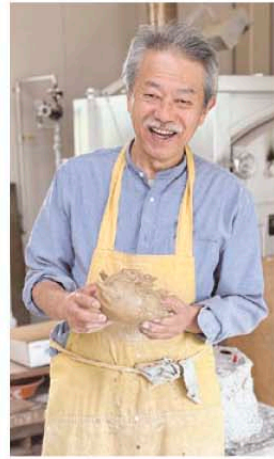
下垣さんは、これからの社会を担う北高生たちに、「自分の将来は親や先生や他人が決めるのではなく、自分自身で考え何をしてゆかにかかっている。過去や他人を変える事はできないが、自分の未来を変えることができる。など、ご自身の経験から来る深いメッセージを送りました。そして、何度か、自分の人生は自分自身でつくりゆくもの。『It's up to you!』と繰り返されていました。

社会のトップ企業をけん引する下垣さんのお話しは、パワフルで、バイタリティにあふれていており、ご自身の熱意・誠意が肌で感じられた心に響く講演会でした。



卒業生の活躍

◎12回生 天野 裕夫



多治見北高校12回生の天野裕夫さん

は、瑞浪市大湫町の出身。高校卒業後、多摩美術大学彫刻科に進学し、大学院を修了。以後、同大学で研究室勤務や講師を務めながら、彫刻家として独自の世界観を築いてきました。金属や石や木、陶など多様な素材を用いた作品は、ユーモラスでありながら深い精神性を宿し、東京・名古屋・大阪での個展には多くの来場者が訪れます。作品は美ヶ原高原美術館、岐阜県美術館、東京国際フォーラムなど全国各地に設置・収蔵されており、国内外に多くのファンを持つ彫刻家です。

1984年には第3回高村光太郎大賞展で彫刻の森美術館賞を受賞。1986年には第1回ロダン大賞展で美ヶ原高原美術館賞、1996年には第6回現代日本陶彫展で金賞、2002年には円空大賞展で知事賞を受けるなど、彫刻界で素晴らしい実

績を積み重ねていらつやいます。

2016年、長年暮らした相模原から故郷の瑞浪市大湫町へと居を移し、自然に囲まれた環境で制作に打ち込んでいます。地元の御神木である、樹齢670年・高さ40メートル以上の「大杉」の剪定した枝を素材にした彫刻に取り組む中、令和2年の豪雨で、その巨大な「大杉」が倒木しました。その姿を目の当たりにした天野さんは、『この木を後世に残すのが自分の使命』と感じ、地域の有志と共に『兎塔プロジェクト』を立ち上げました。

倒れた大杉を高さ10メートルの巨大なウサギの彫刻として再生するこの挑戦は、自然との対話であり、地域文化の継承でもあります。その活動はNHKの「美の壺」の「人と生きる巨樹」でも紹介されました。兎塔の制作は現在も続いており、町民との協働やワークショップを通じて、アートが地域にも根づき始めています。

天野さんの自然体な生き方と創作への情熱は、私たち多治見北高校の卒業生だけでなく、地域の方々にとっても大



きな刺激であ

り、東濃の誇れる文化を紡ぐ担い手として、これからも多くの人々の心に響き続けることでしょう。

(記 28回生 溝口武)

◎22回生 堀江 敏幸
修道院の思い出

一九五九年

の伊勢湾台風で修道院に大きな被害が出て、十九世紀



末に制作されたパイプオルガンも故障したままだと教えられたのはいつのことだったか、正確には思い出せないのですが、本校二期生で六四年生まれの私は、当然そのオルガンの音も知らずに育ちました。

中学三年のとき、そのオルガンを修復し、敷地内の葡萄畑とワイナリーの再整備をするための援助活動がはじまったのを知り、わずかながら募金を通して、いくつか催しに参加しました。ありがたかったのは礼拝堂での音楽会です。休日に開かれたクラシックギターの独奏や弦楽四重奏団のミニコンサートは、生の音楽に触れる貴重な機

会でした。

本校への通学には、修道院を正面にのぞむ坂ではなく、バイパスにかかる上山町の歩道橋を渡る正門からのルートを使っていました。しかし放課後の部活では、しばしば東門を抜けて虎渓山をひとまわりするトレーニングをしていたので、記憶のなかの修道院の景色は、季節を問わず、いつも遅い午後光に包まれています。

大学ではフランス文学を学びました。パイプオルガンの修理が完成したのはいちように大学院に入った年でもたばたしており、お披露目の演奏会に立ち会えなかったことが、いまでも心残りです。その後、縁あってフランスに留学し、教会で開かれる音楽会にもよく足を運びましたが、そのたびに、聴いたことのない修道院のパイプオルガンの音を脳裏に響かせていたものです。

三十代の半ばになって、学生時代から著作に親しんでいた仏文学の先輩にお会いする機会がありました。その折、先生が神言会の南山大学で学ばれ、多治見もよくご存知で、修道院の特製ワインを愛飲しておられたとうかがって、おおいに話が弾んだことがあります。自分のささやかな仕事と郷里がこんなふうにつながってくるとは、高校時代には想像もしていませんでした。

修道院はいまも私にとって大切な場所です。なんとか存続できることを、心から祈っています。

◎39回生

久野 勝也
社会保険労務士法人とうかい代表

「変化を恐れず、成長を楽しむ」



高校を卒業してから二十数年。振り返れば、常に「変化」と「成長」に向き合ってきた時間だったとのこと。

久野勝也さんの最初のキャリアは株式会社松坂屋(現・大丸松坂屋百貨店)の外商部門でした。経営者の方々と日々接するなかで、人や組織の課題に直面する姿を間近に見て、「人を支える仕事がしたい」と思ったことが、社会保険労務士を目指すきっかけになりました。

2009年に資格を取得し、2011年に独立。現在は「社会保険労務士法人とうかい」として法人化し、約70名の仲間とともに、企業の人事・労務支援を行っています。

2025年には東京・神田に新事務所を開設し、名古屋・東京の両拠点で中堅企業の経営基盤を支える体制を整えました。

また、2018年には「日本企業型確定拠出年金センター」を立ち上げ、

SBIグループとともに「SBIぷらす年金」という制度をつくりました。

この仕組みを通じて、退職金制度を、会社の負担“から”社員の未来への投資“へと変えていく取り組みを進めています。現在すでに6,000社に導入が進み、多くの企業が従業員の老後資産形成に取り組むようになりました。

今後は、この確定拠出年金をさらに広げ、社会全体の「老後2,000万円問題」を本質的に解決したいと考えています。まだ6,000社ですが、これを10年、20年と積み重ねることで、安心して働ける社会の基盤を広げていきたいと思っています。

一方で、社労士法人とうかいとしても、単なる手続き代行ではなく「企業の持続的成長を支援するインフラ」を提供する存在を目指しています。

今後はグループ全体で2030年に売上30億円・300名体制を実現し、その先の2035年までに、グループの二社を上場させることを目標に掲げていきます。

「専門家の枠を超えて、社会の仕組みそのものをより良くしていくこと——それが私たちの挑戦です」と。

時代が変わっても、変化を恐れず、成長を楽しむ姿勢を忘れずに。

これからも、働く人と企業の未来を支える仕組みづくりに、全力で取り組んでいきますと、前向きなお言葉を頂きました。

(記 39回生 田中宏幸)

東京支部―総会・懇親会を開催

多治見北高同窓会東京支部は、2025年11月29日、コロナ禍以降で最大となる89名の参加者を集め、盛大に総会・懇親会を開催いたしました。

会はず、同窓会特別顧問でいらつしやる高木貴行多治見市長より、市政の状況、特に多治見修道院耐震調査活動の現状についてお話をいただきました。続いて、修道院建物調査の推進を松島祥久実行委員長から説明をいただくとともに、加藤文雄会長からは調査のための寄付への呼びかけ、さらに、同窓会東京支部の発起者である1回生の鈴木満様の奨学金への追加寄付のご報告があり、鈴木様ご自身からも寄付の意義と成果についてお話をいただきました。



メインとなるフォーラムでは、24回生の水野弘道氏が登壇されました。水野氏は、年金基金の最高投資責任者として年金運用パフォーマンスを改善するために取り組まれた抜本改革の困難さと、実際の運用を通じてESG投資を導入した必然性について詳しく解説されました。また、社外取締役を務めたテスラ社では、エヴァンゲリオン好きのイーロン・マスク氏が当初進めようとした日本戦略、および欧州ダノン社との環境問題の解決アプローチの違いを具体的に挙げ、環境問題解決のために意図的に取締役

企業を選択したことを明かされました。その上で、昨年、東濃地方を活性化するために、多治見市に自ら寄付をして立ち上げた三つの事業について説明いただきました。これは①イノベーションや変化を起こせる若者の育成、②世界的に活躍する陶芸家や芸術家の拠点強化、③陶磁器のリサイクルによる環境に優しい美濃焼のブランド化を目指すもので、東濃地方や美濃焼を発展させるため、水野氏のこれまでの経験や多彩な人脈を巻き込み実践中の戦略を伺うことができました。

最後に、水野氏からは、若者に向けて、これからの非常に困難な未来を生き抜くための姿勢と考え方が示されました。これを受けて、参加していた若手同窓生からは、困難に立ち向かう具体的方法を尋ねる質問が飛び出し、水野氏から実践的なアドバイスがありました。すべての世代の同窓生に気持ちを与える刺激的なフォーラムとなったと思います。なお、このフォーラムの内容は、一人でも多くの同窓生、特に若者に知ってもらえるよう、今後記事にしていく予定です。



(記 東京支部会長 今若恒幸)

関西支部―総会報告

2025年6月8日、第31回多治見北高等学校関西支部総会・懇親会を京都の「高瀬川」二条苑で開催しました。新体制で迎えた初の総会は、当日まで司会や乾杯の音頭などが決まっていなくて冷や汗を流しながらの開始となりましたが、そこは機転と笑いの関西支部です。ピンチを笑いに変えての運営で、和気あいあいの総会・懇親会となりました。

恒例の記念講演は、昨年まで同窓会関西支部会長を10年近く続けていただった水野尚之さんの「かくも長く英語に關わりて」のテーマで、英語に対する情熱と探求心がほとばしるような話でした。懇親会では、プロ顔負けの司

会者のもとで、参加者の楽しい一言スピーチもあり、親睦を深めることができました。今回は1回生の方が4人も参加してくれて、新しい出会いがあったこともうれしいことでした。また、今年新たに多治見北高校へ赴任してこられた田中誠二校長先生には、関西支部の飾らない温かな雰囲気を感じてもらえたよううれしく思っています。

準備不足のままで開催した総会でしたが、参加者35名のみなさまのお陰で、楽しい時間を過ごすことができました。来年は、もっと多くの人に参加してもらえ総会にしたいと思っています。

(記 関西支部会長 粕谷武志)



各回生の同窓会報告

17回生(緑寿)同窓会

2025年3月29日に多治見駅北「中之郷テラス」にて、4名の恩師にご臨席頂き、155名の出席で盛大に開催しました。

今回は案内や出欠確認、集合写真や動画の配信等、ITを活用しスムーズに行う事が出来ました。

再会を喜び、会場では和気藹々の中、改めて17回生の絆を深め、次回は古希で元気に会おうと誓い、別れを名残惜しみしました。

『呼び捨ての名前とびかい山笑う』
『卒業の空そのままに半世紀』

工藤定治作



多治見北高校第17回生同窓会



多治見北高校第17回生同窓会

(記 17回生幹事会)

34回生 50歳記念同窓会

令和7年8月16日(土)多治見駅北の中之郷テラスで34回生の50歳記念同窓会を開催しました。前回の40歳記念同窓会を上回る117人の参加人数で、さらに恩師である大野先生、伊佐地先生、小島先生にご臨席いただきました。

実に10年ぶりの再会でしたが、そんな時間の隔たりなどまるでなかったかのよう、会場は一瞬で熱気と笑顔に満たされました。なんと、吉田君が提供してくれた当時の北辰祭のビデオに釘付けでした。一気に高校生当時の気持ちや雰囲気、風景がよみがえりました。

あつという間に時間が過ぎてしまいました。同級生と再会できた時間は何物にも代えがたい宝物です。ご参加いただいた皆さん、そして素敵な会を支えてくれた幹事の皆さんに、心から感謝します！今回来られなかった皆さんも、次はぜひ一緒に楽しい時間を過ごしましょう！そして直前まで参加を予定してくださいました鈴木先生、次回お会いできることを楽しみにしています！

(記 34回生同窓会実行委員会)



2回生最後の同窓会

去る10月24日多治見駅前「中之郷テラス」で、2回生第6回同窓会を開催しました。

前回に開催したのは平成19年9月であり、18年ぶりの開催でした。途中でコロナ禍もあり、開催が遅れていました。

意を決して「最後の同窓会」をやるうと招集したところ、59名の応募がありました。当日になると4名程がキャンセルになり、55名となりました。キャンセルになった人は、「転んで足を挫いた」とか「持病が悪くなった」とか「母親の容体が悪くなった」とかで、それそれ止むを得ないものばかりでした。

受付で待っていると次から次へと集まってくれる人たちの中には、直ぐに誰か判る人と判らない人で大変な騒動になっていました。

恩師はほとんどお亡くなりになっていますが、お元気な恩師に声をかけさせていただきましたが、「もう95才だから勘弁してくれ」と言われたので、ご出席はしていただけませんでした。

遠くはシドニーから、大阪、東京からも参加してくれる者もいました。

会を始める前に、全員で記念写真を撮り、すぐに写真屋で焼き増しして持ち帰ってもらいました。

開会に先立ち、物故者69名、恩師のご冥福をお祈りして黙とうを行いました。

私が世話人を代表して挨拶をさせていただきました。赤塚勝君の発声で乾杯をして、会を始めました。

私達が入学した昭和34年には、伊勢湾台風があり、教室の窓ガラスがほとんど割れて期末試験が1カ月程出来なくなつたことなどを思い出しました。

卒業して64年振りに会う者もありましたが、それぞれが82年の人生を経てこられた風格と自信が溢れている人達がほとんどでした。

2回生と

言えば、何と言つても西寺雅也元市長であり、

経済同友会の永久幹事である前原金一君であり、女性科

学者に贈られる猿橋賞を受賞した加藤隆子さ

んの話を聞いた後に、

楽しく語り合いをしました。

その様子を見ていて、「同窓会をお世話話してよかったなあ」という気持ちになれて大変に嬉しく思いました。

最後に私達が卒業する1カ月前に出来上がった校歌で、在校時代には水



「北会（1回生）」

30人+1人でスタート

世話人・岩田倫子、上村洋二、鈴木俊雄、後藤崇、伊野稔（途中で辞任）

多治見北高等学校1回生（卒業時215名）の同窓会は、2024年11月に12回目の同窓会で閉じる事になりました。12回目の同窓会は、129名に往復はがきで通知し返信が117名（出席が39名、欠席が78名）、不明が12名でした。「同窓会閉め」は、参加者の話し合いで決めました。話し合いの中で同窓会を止めても「2回生が集まれる場があるとありがたい」との意見が目立ち、そして「現在活動しているグループがありそのグループが合同で集まれば」と具体的な提案がありました。この方式なら可能性があると実現へ向けて検討する事になりました。

まずグループの現状を調べ、①すみれ会（女性のみで約22名）②北寿会（テニス部をベースとする集い17名）③ゴルフ同好会（9名）④めいろう会（浪組6名）がわかりました。幸い同窓会の幹事3人が4つのグループに所属しており、グループにはいつてない幹事1人、さらに情報通1人の5人（世話人）で実施に向けて検討してきました。そして往復はがきを使わず各グループの連絡方法を活用して出欠をとる方式を確認し、グループに所属しない人には、世話人の個人的な付き合いで通知していきましました。



実施日を10月30日として名称を「北会（いちほくかい）」にして諸々を決めて7月に通知を始め、集計結果は、グループ所属者が20人、所属しない人が12人でした。

その後、2人が欠席変更、30人で「北会」がスタートする事になりました。

開催日の二日前、今年2月に脳梗塞で倒れ、その後回復し後遺症も比較的に軽くなりハビリ中のH・K君が、皆に会いたいから顔を出したいと電話があり喜んでOKしました。当日、娘さんの運



14回生同窓会 「古希の会」



11月16日(日)、多治見北高第14回生同窓会「古希の会」を開催しました。

会場は下呂温泉水明館、出席は男子36名・女子7名の合計43名で恩師はなし。物故者への黙禱と集合写真撮影

転する車で会場にきて、参加者と一緒に写真を撮り、話し合っていました。参加者は、思わぬ友の出現に驚き、その気力に拍手、厳しい食事制限のため彼と会食せずに別れました。集合写真は、彼の娘さんにシャッターを押してもらいました。

「二北会」は、こんな場面に存在意義の一端があるのでは。82歳、83歳ともなればほとんどが健康アクシデントと付き合っており、病や老いに潰されそうになる時もあります。机を並べた友と会話して老いを忘れていると気力が充電してくるかも知れません。

第二步を踏み出した「二北会」、少しでも永く続く事を願っています。

(記 世話人 後藤 崇)

19回生65歳同窓会

(記 14回生 有賀和秋)

後、午後6時半開会。会長挨拶と周年記念の本会同窓会への寄付、多治見修道院建物調査寄付金募金の紹介がありました。

乾杯後は和やかに歓談、二次会も近況報告や思い出話に花が咲き旧交を温めました。翌日は朝食後に現地解散、各自で飛騨路の紅葉や食を満喫して家路につきました。次回は7年後の喜寿の会?77歳まで健康に注意し元気に再会したいものです。

令和7年11月24日(月)連休最終日開催にもかかわらず、同窓生100名と恩師3名 東先生、吉川先生、田村先生をお迎えし名古屋ガーデンパレスにて開催いたしました。残念ながら同窓生2名は所要のため急遽欠席となりましたが、多くの出席者に恵まれ、大変にぎやかに終える事が出来ました。前回の還暦同窓会はコロナの影響で開催が遅れ、人数も73人だったが今回は103名とありがたい結果となりました。また3年しかたつてないのに「誰だっけ?」という会話も多く聞けました。前回は着座での会食で、「他のテーブルの人と会話が出来なかった。」という意見を受け、着座でのバイキング形式をとり、出歩ききつかけを設けた結果大変多くの懇談の場ができた

かでした。途中加藤尊也君と酒井博司君作のぐい呑みを先生にプレゼントし、全員で校歌を歌い記念写真を撮り、惜しまれる中お開きとなりました。



(記 19回生 田中直樹)



令和7年10月25日(土)
ゴルフの部7時~14時10分懇親会の部15時~16時
開催場所・愛岐カントリークラブ
参加者・同窓生151名(プレイ参加者151名)

当日は曇り模様で暑くもなく寒くもないゴルフ日和に恵まれ、1回生から58回生までの同窓生が参加され、楽しくプレイしていただく事が出来ました。懇親会では歴代会長にご参加いただき、更に今年度幹事の25回同窓生でもある現多治見北高校長の田中誠二氏、また現多治見市長高木貴行氏に、挨拶頂き楽しく進めることができました。

今後の課題として幅広い世代にわたり当コンペ開催の周知を図るべく、若年層の代表者を募り名簿を更新する事が必要であると思います。



個人の部:優勝



団体の部:優勝

個人の部	順位	回生	氏名	
	優勝	1回生	長江 征治 様	
団体の部	順位	回生	氏名	
	優勝	23回生	林 洋昭 様 山本 哲也 様	柚木 崎 宏 様 横井 敏江 様

(記 幹事代表

25回生 前田市朗)

多治見修道院

「修道院のあるまち 多治見 未来に向けた一歩を」



階の木造建築で、中世ヨーロッパを思わせる雰囲気を持ち、多くの市民に親しまれてきました。修道院の周囲の畑で栽培されたぶどうを使い、1933年から地下でワインが醸造され愛飲されてきた歴史もありますが、現在は製造されていません。修道院のバロック建築と美しく緑豊かな中庭は、多くの人々の「心の風景」となっています。

なぜ寄付を募っているのか

1930年にカトリック神言修道会によって建てられた多治見修道院は、日本三大修道院の一つに数えられますが、設立から95年が経ち、老朽化の進行を理由に解体の方針が決定しています。これまで現場を守る方々の多大な尽力で維持されてきま

したが、施設の安全性を確保するためには多額の資金が必要な状況です。

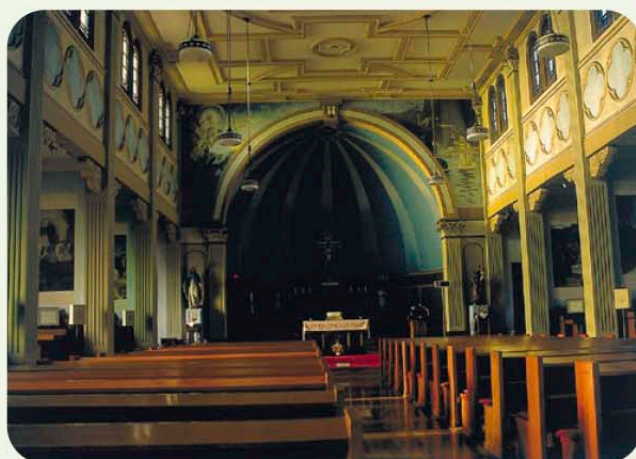
虎渓山の麓にある多治見修道院は、お花見やライトアップ、学生の野外研修、年に一度のワインフェスタなどが開かれ、市民にとって大切な場所です。修道院のある景色“は市民が誇るべき財産であり、「未来」に残していきたい風景だと考えられています。多治見修道院の「未来」を考える上で建物の状態を正しく把握することは不可欠ですが、建物の耐震調査だけでも多くの予算が必要です。

わたしたちが叶えたいこと

多治見商工会議所、笠原町商工会、多治見青年会議所、多治見市文化振興事業団、たじみDMO（多治見市観光協会）、そして多治見市を構成員とする「多治見修道院建物調査実行委員会」が立ち上がりました。多治見修道院の所有者である神言修道会と協議を重ねた結果、建物の耐震調査を実施すること、そしてそのための財源として寄付金を募集することについて了承を得ました。

建物耐震調査に必要な費用は、耐震診断等に約2、200万円、改修費用

把握のための設計費に約2、000万円以上を見込んでいます。寄付金が集まれば、2026年度に調査を実施する予定です。



今回の耐震調査は、多治見にとって大切な風景を守るための第一歩です。まだ建物を残せる保証はありませんが、可能性を模索するこの取り組みを、市民の皆さんとともに進めていきたいと考えています。ぜひともご支援をお願い申し上げます。

(記 多治見修道院建物調査実行委員会)

多治見修道院の概要

1930年にカトリック神言修道会の宣教師モール神父によって設立された多治見修道院は、地上3階、地下1



岐阜県立多治見北高校同窓会の皆さまには、日頃より多治見市政にお力添えを賜り、心より御礼申し上げます。同校は半世紀を超える歴史の中で、数多くの人材を地域や社会に輩出されてきました。市政を進めるうえで、各分野で活躍される同窓生の皆さまの存在は大変心強く、地域課題への協力や温かな助言をいただいていることに深く感謝いたします。今後も、同校出身者の知恵と力をお借りしながら、多治見市の発展につなげてまいります。

さて、多治見市のシンボルとして市民の皆さまに長年親しまれてきた「多治見修道院」が大きな転機を迎えております。昭和初期に建設された修道院は、所有者である神言修道会により、老朽化のため解体の方針が決定されています。

「修道院のある風景」は市民が誇るべき財産であり、未来に残していきたいと考えた「たじみDMO」をはじめとする有志は、「多治見修道院建物調査実行委員会」を立ち上げ、修道院のこれからを考えていくため、建物耐震調査を行うための寄付金募集を開始しています。まだ建物を残せる保証はありませんが、私は、この調査は多治見市民の心に深く刻まれている風景を未来につなぐ第一歩となる活動であると考えております。貴会の皆さまにおかれ

まして、この活動趣旨にご理解をいただき、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。結びに、貴会の益々のご発展並びに会員各位のご健勝とご多幸を祈念し、私からの挨拶とさせていただきます。



広告掲載に関してご協力誠にありがとうございます。また、今回修道院マークを記載させて頂いた広告主様は今回の修道院の寄付金を既に行って頂いたもしくは寄付を申し込んで頂いた方になります。

私達、多治見北高同窓生にとつて、校舎や体育館等の施設の変遷はあったものの、修道院の風景に関しては「不変的な存在」でした。美術の授業で描く対象であったり、北辰祭の映画のロケ地や各種イベントの場として特別な思いのある方も多いのではないかと思います。

修道院の現状を1人でも多くの北高同窓生の皆さんにお伝えするために今回の特集ページを企画致しました。ぜひとも現在進行形の修道院の状況を本誌が届かなかつた同窓生や多治見にご縁のある方々にお伝え頂きたいというのが多治見北高同窓会本部の総意であります。どうぞよろしく願います。

広報委員長 小原隆浩(27回生)

締切
間近

耐震調査費用の寄付を募っています

- 募集期間 令和7(2025年)7月から **令和8年(2026年)2月末まで**
- 募集対象及び金額 (1)個人:3,000円以上 (2)企業・団体:10,000円以上

※個人の場合は1,000円単位、企業・団体の場合は10,000円単位のご寄付をお願いいたします。

①多治見修道院建物調査
実行委員会ホームページ



<https://tajimishudoin-chousa.info/>

寄付 方法

1 当委員会ホームページ内で

「寄付申込みフォーム」に必要事項をご記入・送信いただいた後、次の **2-1** **2-2** のいずれかの方法によりご寄付いただくことができます。

※「寄付申込フォーム」への入力でお困りの方はお電話にてお問合せください。ご案内いたします。
TEL 0572-23-2636(平日 9:00~18:00)

2-1 金融機関口座からの寄付

<振込先>

金融機関名: 東濃信用金庫本店営業部
口座名義: 多治見修道院建物調査実行委員会
(タジミシュドウインタデモノチヨウサジツコウインカイ)
口座種類: 普通預金
口座番号: 1403085

※東濃信用金庫本支店の窓口で手続する場合は、振込手数料が無料になります。その他の場合は、振込手数料は寄付者負担となります。

2-2 インターネットからの寄付

インターネット寄付決済サービス(Syncable)によりクレジットカード、銀行振込によるご寄付が可能です。



<https://syncable.biz/associate/tajimishudoinchousa>

※決定額の5.5%をシステム利用料および手数料に係る消費税としてご負担いただくこととなります。

大人たちの北辰祭 (PTAバザー)

9月4日(木)、5日(金)の2日間、北辰祭においてPTAバザーを開催しました。今年の夏は雨が少なく暑い日が続きましたが、北辰祭2日目は台風直撃の天気予報でしたので、体育館1階のピロティーでの開催となりました。焼きそば、焼き鳥、みたらし団子、ホットドック、揚げパン、たません、かき氷、ジュースと豊富な品揃えでしたが、2日とも早々に完売となりました。

コロナ禍でPTAバザーが開催されなかった年がありました。2年前、北高生のためにPTAバザーを何としても復活させたいという熱い思いと見事な団結力により、以前と同じ規模で開催することができました。今年は1日目115名、2日目99名の協力をお願いできました。本部役員、支部委員、ボランティアの方々、誠にありがとうございました。

他ではコロナ禍をきっかけに、キッチンカーを集め、PTAが生徒に金券の補助をしている学校もあります。PTAの行事に参加する人員の確保が年々難しくなっているようです。幸いにも、北高PTAの皆さんには、深いご理解と多大なるご協力をいただいていますので、来年も盛大にPTA

Aバザーが開催できることを期待しています。

反省会で、ある本部役員がこう言われました。「甲子園で活躍する高校のアルプススタンドの光景を思い浮かべて下さい。親が一生懸命に応援しています。球児たちも声援に後押しされて頑張っています。今年のPTAバザーで生徒たちのために頑張っているPTAの皆さんの姿を見ていて、北高生の将来も明るいことを確信しました。」北高OBの皆様、ご子息が北高に入学されましたら、是非とも、PTAバザーにご参加下さい。大人たちの北辰祭(PTAバザー)を楽しみながら、北高生が北辰祭を満喫できるように応援しましょう。

(記 令和7年度PTA副会長
大野晃裕(28回生))



～ ご理解とご協力ありがとうございます ～

11回生

古川 雅典



とうと法律事務所

弁護士 田中 敦 (40回生)

岐阜県弁護士会所属

〒509-5142 岐阜県土岐市泉町久尻30-11
TEL:0572-51-7208 FAX:0572-51-5502



くらしの中へ「小さな」しあわせを届けます

KANEKO KOHYO

株式会社 カネコ小兵製陶所

15回生 伊藤 克紀

46回生 伊藤 祐輝

www.ko-hyo.com



勝 歯科医院

勝 峰雄
(14回生)

〒508-0003 中津川市中一色町1-46
TEL(0573)66-6700
FAX(0573)66-1260

美しいタイル外壁に携わる

株式会社 科研商会

代表取締役

仁井谷 利彦
(28回生)

〒507-0041 多治見市太平町4-37
特許第6958889号



デジタルマーケティングを支援します

Wired Japan

広告宣伝・販売促進企画・立案
ホームページ制作・SNS運用管理代行
業務効率化・アプリ開発・DX推進

代表取締役 CEO

土本 真史 (27回生)

TSUCHIMOTO Masafumi
株式会社ワイアドジャパン
〒103-0004 東京都中央区東日本橋2-19-9-501
TEL:050-3597-5505
https://www.wired-j.jp



～ ご理解とご協力ありがとうございます ～
皆様のご活躍とご健康をお祈りいたします

美術高級陶磁器卸
株式会社 **余安藤進啓商店**

代表取締役 鈴木 正夫 (7回生)

岐阜県多治見市小田町2丁目10番地
電話 (0572) 22-0084 番地



ささき歯科

佐々木 誠 (6回生)
佐々木 敬介 (38回生)



〒509-6101 瑞浪市土岐町52-2
TEL (0572) 68-3776
FAX (0572) 68-1418

税理士法人 森本会計

税理士 成瀬 守 (23回生)

税理士 滝 文謙 (44回生)



事務所
〒507-0023 多治見市小田町3丁目80番地
TEL: (0572) 22-5201
FAX: (0572) 24-3082

最高の輝きをあなたに!

テレビCM
「キレイの達人編」
放映中



美容外科 小木曾クリニック 院長
小木曾 祐一



美容形成・形成外科・婦人科・美容皮膚科

Kogiso Clinic
小木曾クリニック

院長 小嶋 祐一
医学博士 小嶋 祐一
昭和47年卒 12回生



受付・相談
0120-566-395
岐阜・スマホOK



JR名古屋駅
徒歩5分
より

名古屋市中村区名駅3-24-14 LCビル6F
<https://www.kogiso-clinic.com>

中津第一歯科

同窓会名誉会長

伊藤 恒一 (12回生)

井川 久美子 (46回生)
(伊藤)

〒508-0032 中津市栄町4-26
(0573) 66-1577



丸田浩司税理士事務所

税理士 丸田 浩司 (14回生)

所属税理士 佐藤 (丸田) 洋実 (40回生)

〒509-5401 土岐市駄知町1706-2
TEL: (0572) 59-8131
FAX: (0572) 59-8132



株式会社 **山文トムソン**

社長 加藤 文雄 (14回生)

専務 加藤 大祐 (45回生)

〒509-5102 土岐市泉町定林寺839-17
TEL: 0572-55-2640 FAX: 0572-55-1607
E-Mail: post@yamabun-t.co.jp
<https://yamabun-t.co.jp>



おかげ様で創業100年!!
LPガス・灯油・器具・太陽光発電
水廻りリフォーム工事・家電販売
株式会社 松野屋商店

代表取締役 松村 有三 (14回生)

営業 松村 光浩 (49回生)

岐阜県瑞浪市西小田町2-70
TEL.0572-68-2068

BSD
FAシステム・エンジニアリング
産業・窯業機械 設計製造
株式会社 文晶堂

加藤 美香子 (22回生)
加藤 宏治 (49回生)

〒509-0245 岐阜県可児市下切901
TEL (0574) 62-2854 FAX (0574) 63-4478
<https://www.bunshodo-corp.jp>

500円金券

予約 ☎052-721-3662

名城線ナゴヤドーム前矢田駅3番東隣

<有効期限: 2026年12月31日>

矢田駐車場

水野 清治 13回生
彩子 43回生
貴文 45回生
祥子 47回生

パッケージの明日をクリエイとする

White House Co., Ltd.

代表取締役 五島 達明 (12回生)

株式会社 ホワイトハウス

本社・工場 岐阜県多治見市甘原町226-1-1 TEL0572-23-6464
東京オフィス 東京都渋谷区代々木1-67-7 ユニハイツ代々木202 TEL03-6276-5164
www.white-h.co.jp

Villa TEN ZAN
一日一組限定の隠れ家ヴィラ

〒509-6471 瑞浪市大湫町 221-159
TEL 0572-63-3010
カフェー清涯荘 溝口 武 (28回生)





～ ご理解とご協力ありがとうございます ～
皆様のご活躍とご健康をお祈りいたします



陶磁器・企画・製造販売

京陶窯業株式会社

会長 梅田 照夫 (9回生)

〒507-0071 岐阜県多治見市旭ヶ丘9-4-8
TEL (0572) 20-2280 FAX (0572) 20-2281
URL: <https://www.ask-kyoutou.co.jp>
e-mail: kyoutou@tea.ocn.ne.jp

落語を多治見で楽しむ

大日落語会

会長 山村 寛 (19回生)

令和8年2月23日(月) 林家彦いち
令和8年5月24日(日) 五街道雲助
令和8年8月29日(土) 春風亭柳枝・田辺いちか
令和8年11月29日(日) 柳家さん喬

QRコード
ホームページ

株式会社 中部技研

防水工事・塗装工事・建築工事・リフォーム工事

代表取締役 田中 直樹 (19回生)

〒507-0805 岐阜県多治見市新富町2-16
TEL (0572) 22-7063
FAX (0572) 24-3455
携帯 090-3302-3704
E-mail: n-tanaka@chubugiken.com

「燈を灯す仕事、誇りです」

小境電気工事株式会社

(第8回生・40回生)

住所: 岐阜県多治見市錦町3丁目8番地
TEL: 0572-22-7175 FAX: 0572-24-1227

うながっぱがめじるしうな

株式会社 エネファント

0120-10-9336
お気軽にお電話下さい!

代表取締役 磯崎 顕三 (48回生)

〒507-0812 多治見市下沢町3-35-1
TEL 0572-26-9336 FAX 0572-26-9347
E-mail: info@enephant.co.jp

有限会社 コーワ不動産

代表取締役
大 堀 浩 誉 (19回生)

〒509-5301 岐阜県土岐市妻木町1813番地の7
TEL: (0572) 57-5872

商いのチカラで
私たちの街をもっと笑顔に

石黒商事株式会社

代表取締役 石黒義啓

ガソリンスタンド・LPガス・石油製品・リフォーム・太陽光発電
機械工具・不動産・飲食・フィットネス・教育・コインランドリー

QRコード

防水・塗装工事

SR SUNRISE 株式会社サンライズ

28回生
代表取締役 川俣 寛

〒488-0839 愛知県尾張旭市渋川町1-14-15
TEL 0561-56-9911

こころにとく

花キューピット

やつはし百花園

八 橋 祐 司 (10回生)

〒507-0833 岐阜県多治見市広小路1-36
TEL (0572) 22-5000
FAX (0572) 22-5000

あなたが生まれる前から...

さいわい

本店 / 多治見市旭ヶ丘2-38
TEL 0572-22-1068 7:00 ~ 20:00
多治見駅前店 / 多治見市番町1-235 ジョイフル多治見1F
TEL 0572-24-5539 8:00 ~ 18:00

9回生 小島 万里 (佐分利)
34回生 佐分利 まゆ (小島)

TSC トーノーセキュリティ

株式会社 トーノーセキュリティ

株式会社 アイギトウワ

代表取締役: 愛知 直人 (32回生)
顧問: 小林 昌臣 (15回生)

岐阜県多治見市上野町5-38-1
TEL 0572-24-3535

はぎはら眼科

HAGIHARA EYE CLINIC

萩原 葉子 (27回生)

〒509-5123 岐阜県土岐市土岐口南町2-9
TEL (0572) 55-7717 FAX (0572) 55-7718
<http://www.hagiharaganka.com>

～ ご理解とご協力ありがとうございます ～
皆様のご活躍とご健康をお祈りいたします

歯科 口腔外科

歯・あご・くち・へら

ほりベクリニック

CT診断・細胞(病理)検査・顕微鏡手術

堀部 直貴 (14回生)

〒509-6124 瑞浪市一色町1-47
PHONE (0572) 67-1811
FAX (0572) 68-0023



松下眼科医院

院長 松下 博文 (27回生)

〒509-7205 岐阜県恵那市長島町中野1-7
TEL(0573)25-0065 FAX(0573)25-0160
<http://www.matsushitaganka.com/>



まごころを刻む石屋

石政 佐藤石材

代表取締役 佐藤 裕基 (47回生)

〒507-0807 多治見市生田町1丁目1番地の1
TEL:0572-22-2617 FAX:0572-23-9881

50名様までの
各種宴会、法要 承ります

駒寿心

吉本 恵一 (31回生)

土岐市駅前
TEL:(0572)54-5151



佐々木陶器株式会社

代表取締役社長 佐々木 慶一

取締役副社長 佐々木 陽次 (19回生)

〒507-0806 岐阜県多治見市上町1-28
TEL(0572)23-2121 FAX(0572)23-2122

大倉陶園

佐々木陶器とのコラボで、大倉陶園が初めて
仏具・手元供養を製作いたしました。



医療法人康保会

阿部歯科医院
Abe Dental Clinic

理事長 阿部 馨三 (27回生)

〒509-5122
岐阜県土岐市土岐津町土岐口993-1
TEL:0572-55-4106



豆菜・割烹

いりぼし
入 星

山本 徹 (8回生)

TEL(0572)23-8669



美濃包装株式会社

代表取締役 今井 宏治 (27回生)

由香子 (27回生)

凌太郎 (55回生)

〒507-0825 岐阜県多治見市京町4丁目19番地の1
TEL:0572-23-2631 / FAX:0572-23-9429

伊藤知恵子
法律事務所

弁護士
伊藤 知恵子
(9回生)

〒509-5401 土岐市駄知町2055番地の1
TEL (0572)59-4201
FAX (0572)59-4202



難関中学・高校・大学受験専門

富田塾
POSITIVE THINKING!!

代表取締役 富田 朋秀
(36回生)

株式会社富田

〒507-0016 多治見市金岡町2丁目9番地
TEL 0572-23-1739 FAX 0572-23-1749
<https://tomita-juku.com>
E-mail:tomitajuku2012@yahoo.co.jp



ダサイ! 暑い! 時代遅れ!

株式会社富田は、北高制服全廃に大賛同する企業です

いちはらこどもクリニック

市原 邦彦
(11回生)

〒507-0023 多治見市小田町5-10
TEL (0572) 24-3411 FAX (0572) 24-1499



相続税申告のことなら

SMC税理士法人

多治見オフィス・名古屋オフィス・中津川オフィス

代表社員 岡本 英樹 (24回生)

相続対策、事業承継についてもご相談ください

☎ 0120-459-964 ☑ smc@smc-g.co.jp



SMC Group
Support Management Consultants
<https://www.smc-g.co.jp>



～ ご理解とご協力ありがとうございます ～
皆様のご活躍とご健康をお祈りいたします



東濃ダイハツ株式会社

代表取締役
曽根 敏治
(18回生)



〒507-0015 岐阜県多治見市住吉町1丁目24番地
TEL: (0572)22-5321 FAX: (0572)22-5322



土岐三菱自動車販売株式会社

代表取締役社長
安藤 正彦
(17回生)



〒509-5116 土岐市肥田浅野矢落町1の1
Tel :0572-55-4011 Fax:0572-54-4103

株式会社 志濃原

代表取締役
篠原 一行
(15回生)



〒507-0053 多治見市若松町4-59
TEL:0572-22-5559 FAX:0572-22-4324
E-mail kazu@e-shinohara.jp
https://e-shinohara.jp

CPS総合法務事務所

司法書士
加藤 健治 (第19回生)

多治見市滝呂町10丁目43番地の6
TEL:0572-25-4102

CPS事務所 検索



多治見 旭ヶ丘テニスクラブ

代表
鈴木 正明 (19回生)
鈴木 謙太郎 (50回生)

多治見市旭ヶ丘8-36-1
Tel :0572-27-3000



株式会社 吉川組

代表取締役社長
吉川 厚志 (18回生)

〒507-0072 岐阜県多治見市明和町2丁目50番地
TEL (0572)27-3141 FAX (0572)29-3907

夢と希望を大地に



株式会社 藤本組

代表取締役
松島 祥久 (21回生)

本社 岐阜県多治見市小田町5丁目1番地
TEL (0572)22-3165(代) FAX(0572)24-3594
e-mail matusima@fujimoto-gumi.co.jp
https://www.fujimoto-gumi.co.jp



電気・空調・太陽光発電

(株)林電機商会

代表取締役
林 浩司
(第21回生)



岐阜県多治見市京町1-134
TEL 0572-22-0552

世界の動き身近な話題 中日新聞

多治見東部専売所

田代新聞店

多治見市中町33番地の4
TEL(22)5172



外構・お庭の設計施工

株式会社 イトウ建材店

代表取締役 **伊藤 太一** (40回生)

TEL 0572-68-4131
瑞浪市西小田町3-110



◇社員募集 (施工管理・社員職人)
◇職人募集 (外構全般・左官・造園・エクステリア)

櫻井建設(株)



代表取締役
櫻井 博邦 (21回生)
櫻井 睦弓 (55回生)

多治見市笠原町2455-97
TEL:(0572)-44-1101
https://nikode.jp



IIDA CONSTRUCTION

代表取締役 飯田道広 (21回生) 山中美名子 (38回生)
専務取締役 飯田雄太 (51回生) 下妻奈佑 (54回生)

株式会社飯田建設

〒507-0024 多治見市大正町 3-67
TEL(0572)22-0071 FAX(0572)24-1158

東美濃税理士法人
河合会計事務所

税理士
河合 俊宏
(24回生)



〒507-0035 多治見市栄町2丁目57番地
電話 (0572)23-1158 FAX (0572)24-1132

本土神社

宮司 **松原 広幸**
(23回生)



多治見市小田町1-20
TEL 0572-23-3927



歯の健康と笑顔を
医療法人 つくし

井澤歯科医院

理事長
井澤 賢禄 歯科医師 (23回生)

〒507-0051 岐阜県多治見市西坂町 5-78

☎ 0572-22-4118
☎ 0572-22-3018
✉ kenroku.com@khh.biglobe.ne.jp
🌐 https://www.izawa-dc.net/



～ ご理解とご協力ありがとうございます ～
皆様のご活躍とご健康をお祈りいたします

トイレのつまりから新築・増改築まで
住まいのことなら
枡岡建設(有)
0120-81-0146
何でも いつでも
多治見・市之倉・可児・単ヶ丘

専務取締役 枡岡 輝晃
(24 回生)

ひらく本屋
HIRAKU BOOKSHOP
東文堂本店

木野村 匡 (26回生)

多治見市本町3-25 TEL 0572-21-5610
本店事務所:多治見市小路町14
TEL 0572-22-3535 FAX 0572-24-1814
e-mail webmaster@tobundo.co.jp

社会保険手続き / 給与計算アウトソーシングを
シンプルに・楽にする
社会保険労務士法人

社会保険手続き
給与計算
労務相談

累計**450**社以上の
導入支援実績!

全国対応・無料相談受付中

社会保険労務士法人 とうかい
052-433-7280
ホームページはこちら▲

代表 久野勝也 (39 回生)

企業型確定拠出年金
の導入なら
**日本企業型
確定拠出年金センター**

役員1名からOK 運用益非課税 全額損金

全国対応・無料相談受付中

日本企業型確定拠出年金センター
050-3645-9040
ホームページはこちら▲

代表取締役 久野勝也 (39 回生)

明日の原料を担う
稲垣鋳業株式会社

inagaki.co.jp

給排水衛生設備工事
東海住宅設備株式会社

代表取締役
日比野 美奈
(第25回生)

〒509-5142 岐阜県土岐市泉町久尻32番地の8
TEL:0572-54-3381 FAX:0572-54-8098
e-mail:tokai@tokai-j.com

保険の相談お待ちしています!
大脇サービス

代表取締役
大脇 恵一
(第29回生)

〒507-0028 岐阜県多治見市井天町4-2-9
TEL(0572)22-9588 FAX(0572)25-8599

鰻

創業129年
老鰻亭 魚関
www.uoseki.co.jp

歯科医院はやし

林 孝徳
(32回生)

〒507-0054 多治見市宝町9-32
TEL (0572) 26-8665

東濃エアサービス

代表取締役
1級空気圧装置組立技士
こざわ みつとし
小澤 充利
(34 回生)

〒507-0014 岐阜県多治見市虎溪山町3-106-23
TEL 0572-22-2019 FAX 0572-23-1139
E-mail:info@tono-air.com

**多治見ききょう
法律事務所**

弁護士 木下貴子 (34 回生)

(岐阜県弁護士会)

〒507-0032 多治見市大日町 21 大日ビル3号
TEL 0572-26-9852 FAX 0572-26-9853

司法書士法人
おりべ合同事務所

司法書士 水野 聡 (37回生)

登記・測量
おりべ合同事務所

木製パレット・輸送用木箱・各種包装資材

企業を支える会社
市原工業 株式会社

岐阜県多治見市虎溪町2-43
HP <https://ichihara-kk.jp>

館林建設株式会社

代表取締役
館林 道孝(37回生)

徳田 景子(37回生)
(土本)

〒509-5122 岐阜県土岐市土岐津町土岐口1956
TEL 0572-55-3131 FAX 0572-55-0626

土地家屋調査士 宮川 啓 (37回生)

[多治見]
多治見市栄町一丁目54番地1 コアラビル3階
TEL 0572-26-8515 FAX 0572-26-8580

[名古屋]
名古屋市中区富士見町13番22号
TEL 052-323-8585 FAX 052-323-8575

令和6年度 過去4年間の主な大学合格者数

※R06年度＝令和7年3月1日卒業生

多治見北高等学校 進路指導部

国公立大学 ()は過年度生の内数

学校名	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
北海道	4	1 (1)		
東北				1
筑波	1		1	
千葉	2	5 (1)	2	1
お茶の水女子				1
東京	2	1 (1)		1
東京外国語	1	1	1	2
東京海洋		1		1
東京学芸		2	1	4
東京工業			2	
一橋			1	2 (1)
横浜国立	1	1	1	1
富山	11	5	2	8 (1)
金沢	10 (1)	6	6 (1)	8
福井	3 (1)	1	3	3
山梨	2 (1)	1	1	3
信州	4	8 (1)	2	5
岐阜	18 (1)	27 (1)	22 (1)	30 (2)
静岡	2	9 (2)	10	10
浜松医科				1
愛知教育		4		1
名古屋	19 (3)	12	31 (2)	24
名古屋工業	10 (2)	9	13 (3)	9
三重	2 (1)	1	6 (1)	2
滋賀			1	2 (1)
京都	6	4 (2)	7 (2)	5 (2)
大阪	3	3	6 (1)	6 (1)
神戸	3	3 (1)	1	1
広島	2		2	1
高知			4 (1)	2
九州	1 (1)	1 (1)		1
高崎経済	1			2
東京都立	1	3		4 (1)
横浜市立		2		1
岐阜薬科	2	2 (1)	1	1
静岡県立	2	1	1	2
愛知県立	6	3	5	7
名古屋市立	5	6 (1)	7 (1)	8
大阪公立	2 (1)	2	4 (1)	2
兵庫県立		1 (1)	1	2 (1)

私立大学

学校名	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
青山学院	1 (1)	4	2 (1)	3 (1)
北里				4
慶應義塾	1	4 (2)	4 (1)	4
上智	1	2	4 (1)	2 (1)
中央	5	6 (2)	4	3 (1)
津田塾				4
東京理科	11 (2)	6	7 (1)	1
日本	3 (3)	1	5 (5)	5
法政	4	4	1	4
明治	16 (4)	8 (5)	11 (3)	8 (1)
立教	2	1	3	2
早稲田	6 (4)	5 (2)	3 (3)	10 (2)
岐阜医療科学	16	8	6 (1)	8
岐阜聖徳学園	7	16	10	15
愛知	28 (2)	20	16	38
愛知医科	6	7	7 (1)	16
愛知学院	4	21	8	21 (2)
愛知工業	38 (3)	28 (5)	15	30 (2)
愛知淑徳	20	4	18	21
金城学院	11	8	8	16
椋山女学園	8	2	5	2
中京	20 (3)	36 (1)	12	22 (1)
中部	39 (1)	34	23	41
豊田工業	6 (1)	7	8 (1)	8 (1)
名古屋外国語	66 (45)	7	14	21
名古屋学芸	2	4	9	18
南山	76 (1)	82 (5)	69 (1)	80 (1)
日本赤十字豊田看護	3	3		2
藤田医科	17	10	9	24
名城	146 (11)	137 (7)	122 (3)	164 (3)
同志社	29 (1)	39 (6)	40 (7)	24 (6)
立命館	71 (13)	68 (8)	55 (11)	55 (11)
龍谷		1	1	5
関西	1	5 (2)	1	3
近畿	8	6 (1)		3
関西学院	15 (2)	8	1 (1)	13

国公立合計	142 (13)	144 (18)	166 (17)	178 (10)
国公立医学部医学科	2 (1)	5 (2)	5 (2)	7 (1)
私立大学合計	767 (117)	648 (59)	545 (48)	741 (35)

～ ご理解とご協力ありがとうございます ～

不動産の売買・賃貸・管理・解体、内外装＆高齢者向けリフォーム・リノベーション



代表取締役 **小原 隆浩** (27回生)

多治見市栄町1-54-1 コアラビル (JR 多治見駅南徒歩4分)

TEL 0572-21-2201



住まなくなったご実家の
売却や運用のご相談を
多くいただいています。



適正な不動産の価値の把握をお手伝いします

みずほ不動産鑑定事務所

代表
水野 隆吾
(20回生)



岐阜県多治見市白山町5丁目37-1
電話: 0572-21-0620

令和7年度 部活動等の主な成績

2025年11月末現在

部活動名	大会名	大会規模	種目	成績	生徒名
陸上競技部	東海高等学校総合体育大会	東海	男子三段跳	出場	坂崎 心太郎
			男子走幅跳	出場	坂崎 心太郎
			女子400mH	出場	林 珠央
	東海高等学校新人陸上競技対校選手権大会	東海	男子三段跳	6位	坂崎 心太郎
			男子800m	9位	永田 蒼汰朗
			男子3000mSC	出場	門矢 航明
			男子3000mSC	出場	長島 悠渡
			女子三段跳	出場	川原 奏愛
	岐阜県高等学校新人陸上競技対校選手権大会	県	男子走幅跳	3位	坂崎 心太郎
			男子三段跳	1位	坂崎 心太郎
			男子800m	2位	永田 蒼汰郎
軟式野球部	秋季東海高等学校軟式野球大会	東海		3位	
サッカー部	U18サッカーリーグ岐阜県リーグ	県	2部リーグ	7位	
	東濃地区高等学校サッカー競技1年生大会	地区		準優勝	
卓球部	全国高等学校総合体育大会県予選	県	男子団体	ベスト8	
	岐阜県高校生新人卓球大会	県	男子シングルス	準優勝	大野 智史
	岐阜県高校生卓球選手権大会	県	男子シングルス	ベスト8	大野 智史
	岐阜県高等学校新人卓球大会	県	男子団体	ベスト8	
	中部日本卓球選手権大会	中部	男子シングルス	出場	大野 智史
	東海卓球選手権大会	東海	男子シングルス	出場	大野 智史
			女子シングルス	出場	水野 結
剣道部	東濃地区高等学校総合体育大会	地区	男子団体	準優勝	
			女子個人	優勝	香住 滯羽
				準優勝	山口 碧梨
	東濃地区高等学校新人剣道大会	地区	男子団体	準優勝	
			女子個人	優勝	香住 滯羽
女子バレーボール部	岐阜県高等学校総合体育大会バレーボール競技東濃地区予選	地区		準優勝	山口 碧梨
男子バスケットボール部	岐阜県高等学校総合体育大会バスケットボール競技東濃地区予選	地区		準優勝	
女子バスケットボール部	岐阜県高等学校総合体育大会バスケットボール競技東濃地区予選	地区		準優勝	
女子バドミントン部	岐阜県高等学校総合体育大会バドミントン競技東濃地区予選	地区	女子団体	準優勝	
			女子シングルス	優勝	河合 伶南
			女子ダブルス	優勝	河合 伶南
ボクシング部	岐阜県高等学校総合体育大会ボクシング競技岐阜県大会	県	男子バンタム級	第3位	福岡 大和
	岐阜県高等学校総合体育大会ボクシング競技岐阜県大会	県	男子ライトウェルター級	第2位	福岡 仁義
	岐阜県高等学校総合体育大会ボクシング競技岐阜県大会	県	男子団体	第3位	
	高等学校総合体育大会ボクシング競技東濃地区大会	地区	男子団体	優勝	
	岐阜県高等学校新人戦大会ボクシング競技岐阜県大会	県	男子ピン級	優勝	水野 凱斗
	岐阜県高等学校新人戦大会ボクシング競技岐阜県大会	県	男子バンタム級	第2位	福岡 大和
	岐阜県高等学校新人戦大会ボクシング競技岐阜県大会	県	男子ライト級	第3位	小木曾 颯大
	岐阜県高等学校新人戦大会ボクシング競技岐阜県大会	県	男子団体	第3位	
男子テニス部	岐阜県高等学校総合体育大会テニス競技東濃地区予選大会	地区	男子団体	優勝	
	岐阜県高等学校テニス新人大会東濃地区予選大会	地区	男子団体	優勝	
女子テニス部	東濃地区総合体育大会テニス競技	地区	女子団体	準優勝	
	東海高等学校総合体育大会テニス競技	東海	女子シングルス	出場	池俣 知佳
	東海中日ジュニアテニス選手権大会	東海	女子シングルス	出場	池俣 知佳
美術部	清流の国ぎふ芸術祭第六回ぎふ美術展	県	洋画部門	入選	柴田 藍衣
	岐阜県高等学校総合文化祭 美術・工芸部門	県	デザイン部門	優秀賞	大野 結花
				奨励賞	後藤 ひかり
放送部	NHK杯全国高等学校放送コンテスト	全国	朗読部門	出場	近藤 寧音
		全国	アナウンス部門	出場	前田 美咲
		全国	テレビドキュメント部門	出場	
	全国高等学校総合文化祭	全国	朗読部門	出場	奥田 恵
	岐阜県高等学校放送コンテスト新人大会	県	朗読部門	4位	西澤 このみ
		県	アナウンス部門	5位	森 瑠衣
		県	アナウンス部門	入選	加藤 結菜
自然科学部	古典の日朗読コンテスト	全国	オーディオメッセージ部門	1位	あきた総文2026出場
	自然科学系部活動研究発表・交流会	県	高校生部門	出場	加藤 結菜
吹奏楽部	岐阜県吹奏楽コンクール高等学校の部	県	物理部門	審査員特別賞	小島 孝紀
	中部日本吹奏楽コンクール	県	B編成	金賞	林 凜之輔
その他	東海高等学校総合体育大会水泳競技大会	東海	50M・100M自由形	出場	山田 夏帆
			100M・200M平泳ぎ	出場	前川 ちひろ
	岐阜県高校英語スピーチコンテスト	県		奨励賞	川喜田 穂花
	全国高等学校ビブリオバトル2025岐阜県大会	県		奨励賞	加藤 結菜
					西澤 このみ

各委員会からのお願いや連絡

異動情報をお寄せください

転居など会員情報を順次更新しています。
下記まで情報をお寄せください。
多治見北高等学校の渉外担当は後藤浩利先生です。

TEL: 0572-22-3361

E-mail: p91359@gifu-net.ed.jp

同窓会事務局

E-mail: takitadoso-idou@yahoo.co.jp

多治見北高校同窓会
会員情報の
異動連絡フォーム



各回生の同窓会開催、卒業生・学校の情報等、会報誌掲載情報を募集しております

連絡先: 広報担当 小原 隆浩 (27回生)

TEL: 0572-21-2201

(マルイ不動産内)

広報掲載情報

E-mail: takitadoso-pr@yahoo.co.jp

広告掲載募集

1コマ(58×43mm) 10,000円より

● 広告に関する校正業務は
トーヨー印刷株式会社に委託しています。

同窓会本部 ホームページ「北辰.jp」

同窓会本部ホームページを徐々に整備・更新を進めております。イベントの告知他、東京支部や各学年へのリンクを配置しており部活動や学校のページを本部ホームページに配置する仕組みもございます。まずは下記URLにアクセスいただき個別の投稿申込、各学年ページの開設の希望がありましたら、ページの下部のメールボタンを押してホームページ事務局までお知らせください。

多治見北高同窓会
情報委員会

北辰.jp

検索



同窓会活動への協力金のお願い

卒業生が20,000人を超える状況の中で協力者は800人と4%、とさみしい状況になっております。金額につきましては、ご理解賜り3,000円以上として下記の方法にて振込いただく様になっております。是非ご協力いただけると助かります。

振込に際しては、ご卒業回生を記入してください

振込方法①…郵便局

- ・口座名義: 多治見北高等学校同窓会
- ・口座番号: 00830-3-130852

振込方法②…十六銀行多治見支店

- ・口座名義: 多治見北高等学校同窓会
- ・口座番号: 普通 1701724

振込方法③…コンビニエンスストア

- ・同封のコンビニ決済の振込用紙をご利用ください
金額は3,000円のみ

振込方法④…電子決済アプリ (LINE Pay、PayPay、au PAY、PayB)

- ・同封のコンビニ決済の振込用紙のバーコードをスキャンして
電子決済アプリ4つのいずれかでお支払い

令和7年度 多治見北同窓会本部 執行役員名簿

役 職	回生	氏 名
名誉会長	1	可 児 勝
名誉会長	2	尾 関 恵一
名誉会長	5	酒 井 忠 造
名誉会長	12	伊 藤 恒 一
名誉会長 学校長	25	田 中 誠 二
特別顧問 多治見市長		高 木 貴 行
会 長	14	加 藤 文 雄
副会長 会長代行	14	大 森 伴 樹
副会長 総務委員長	15	小 林 昌 臣
副会長 財務委員長	17	春 田 宣 康

役 職	回生	氏 名
副会長 事業委員長	21	飯 田 道 広
副会長 広報委員長	27	小 原 隆 浩
副会長 ゴルフ委員長	14	岩 田 政 憲
副会長 情報委員長	23	千 賀 研 治
副会長 北辰会基金委員長	19	田 中 直 樹
会計管理者	14	安 江 雅 隆
事務局 長	34	小 玉 淳
監 事	12	五 島 達 明
監 事	12	古 川 義 之
顧 問	7	鈴 木 正 夫

役 職	回生	氏 名
顧 問	12	塚 本 省 二
東京支部 会長	24	今 若 恒 幸
関西支部 会長	13	粕 谷 武 志
理事 総務副委員長	15	水 野 一 正
理事 財務副委員長	17	安 藤 正 彦
理事 ゴルフ副委員長	18	三 宅 信 行
理事 北辰会基金副委員長	19	加 藤 健 治
理事 事業副委員長	21	松 島 祥 久
理事 情報副委員長	24	河 合 俊 宏
理事 広報副委員長	28	溝 口 武